

パブリックコメントの実施結果

資料①

No.	計画頁番号	該当箇所	ご意見の概要	町の考え方	修正の有無
1	68	基本目標 1	「権利行使」しやすいことも挿入して欲しい。	ご意見を参考に、「すべてのこども・若者が権利の主体であることを地域全体で共有するとともに、こども・若者自身が自らの権利についての理解を深め、意見を表明し、 <u>権利を行使できる環境</u> づくりに取り組みます。」に修正しました。	有
2	71	②おとなへの普及啓発	「保護者や保育士、教職員等の周囲のおとな」を「保護者や保育士、教職員、地域のおとな」として欲しい。	ご意見を参考に、計画案を修正しました。	有
3	72	③学校応援隊はえばるの実施、④学校における体験学習の充実	学校への要望が多々ある。学校の体制・環境を整えず、現場にいろいろな事が持ち込まれれば、今以上に教師は疲弊するのでは？と心配。 <u>20人学級を早期に実現する事が先</u> ではないか。質の向上と同様、現場では子ども一人一人の声をくみ取ろうと思っていても出来ない事も多い。学んだ事を実践できるゆとりが欲しい。子どもの最善を実現するためにも大人の最善を保障。	沖縄県公立小・中学校学級編制基準については、沖縄県が定めており、児童・生徒一人一人にきめ細やかな指導等をするため、引き続き適切な学級編制を図って参ります。	無
4	72	①児童館の環境改善	施設の防水対策ではなく、防災対策ではないか。	防水工事を行うことで、児童館での良好な遊び環境を確保する目的で記載しております。 なお、防災対策については、P85「③防災体制の強化」に記載しております。	無
5	73	② 就学前教育・保育と小学校との円滑な接続	「② 就学前教育・保育と小学校との円滑な接続」について、南風原独自の幼児教育を強調した表現にできないか。公立幼稚園だけではなく、認可保育所、認定こども園含め「保幼小」を包含した組織体制の構築が必要です。 また、活動の中味が同じようなものであれば、行政の壁(こども課、学校教育課)を超えて、業務を1つに集約して機能的に活動する方法が効率的かと考えています。 町立幼稚園の四園研修会も公立だけに留まらず、町内全ての幼児教育施設と一緒に行うことで、「保育の質向上」のために職員の研修意欲を高めていけると考えます。	頂いたご意見につきましては、行政の壁を越えてより教育部局と保育部局が連携して幼児教育を推進していけるよう取り組んでまいります。また、四園研修の持ち方について検討してまいります。	無
6	73	①児童館の充実	豊見城市では児童館を日曜開館しており、「児童館の土日開館を目指し、居場所を増やす」の文言を挿入して欲しい。	土曜日については、学校の長期休業期間も含め開館しておりますが、日曜日開館のご意見につきましては、本町の職員体制や予算状況も踏まえ、今後の参考にさせていただきます。	無

パブリックコメントの実施結果

資料①

No.	計画頁番号	該当箇所	ご意見の概要	町の考え方	修正の有無
7	73	②放課後児童クラブの充実	学童クラブの利用料が高くて通わす事が出来ない人が27.5%もいる。利用料の軽減を挿入して欲しい。	本町では、学童クラブへ賃借料補助し、その分利用料低減を図る事業を行っております。また、ひとり親世帯、住民税非課税世帯、生活保護受給者世帯については、別事業にて利用料の低減を行っております。 頂いたご意見につきましては、子育て世帯の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。	無
8	73	③放課後子ども教室の充実	「教室開催日を増やす」の文言を挿入して欲しい。	教室開催日の増については、他市町村の状況等も踏まえて検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。	無
9	74	③ 幼児教育コーディネーター等の配置	島尻管内6市町の中で本町が唯一、幼児教育コーディネーターを配置(人件費は各市町)されていない状況です。コーディネーター配置の年度を明言してもいいのではないかと。	幼児教育コーディネーターの配置については、教育部局と保育部局が連携して役割等を整理しながら引き続き配置の検討をまいります。	無
10	74	② I C T (情報通信技術)を活用した教育の推進	(ICT教育) デジタル教育先進国が子どもの悪影響を考慮しデジタル教育から舵を切ったにもかかわらず、日本は後を追いつけている。記載を全て削除して欲しい。	タブレットや電子黒板などのICT機器は学習教材の一つとして捉えており、健康面への影響にも十分配慮しながら、効果的に活用することで児童生徒の理解を深められると考えております。	無
11	75	②南風原町育英会学資金・入学準備金の貸付	安い賃金で返済で苦しむ若者を作らないために、「貸与だけでなく給付を広げる。」の文言を挿入して欲しい。	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	無
12	76	⑤若年妊産婦の支援体制の充実	支援体制に幼児期・学童期・思春期年齢に合った性教育の出前講座やロールプレイをプログラムに入れる。小さい頃から人権としての性を学ぶ機会が与えられること。	若年妊産婦の支援体制の中では、妊娠・出産・育児に関する相談のほか、性教育も実施しており、予期せぬ妊娠の防止に向け、寄り添いながら支援を行っております。 また、学校現場においても、こどもの発達段階に応じた授業等を実施し、児童生徒が人権や性に対して理解を深められるよう対応しております。	無
13	76	①相談支援体制の充実	「重度心身障害児」の医療費もこども医療費と同様に窓口無料にして格差を埋める。	重度心身障がい者（児）医療費助成事業は、県の実施要綱に則って実施しており、支払い方法は自動償還払となっております。現物給付が可能となるよう引き続き県へ要望してまいります。	無
14	78	(3)児童虐待防止対策の充実、社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援	虐待を見つけられやすい現場・保育所・幼稚園・学校など、子どもと関わる現場にゆとりがないと見落とす可能性が高い。異変を感じられるゆとりが必要。	頂いたご意見も参考に、引き続き体制整備の取組を進めて参ります。	無

パブリックコメントの実施結果

資料①

No.	計画頁番号	該当箇所	ご意見の概要	町の考え方	修正の有無
15	79	①いじめ防止・対応	国連子ども権利委員会からの勧告「教育制度について過度に競争的な性格が子どもの肉体的、精神的に深刻な影響を及ぼし発達を妨げている」を考慮し、子どもが楽しいと思える学校にする。 そのために、子どもの意見はもちろん、保護者、地域、地域で活動するNPO、NGO団体の意見を取り入れる。学校を見直していくことなしに不登校、いじめ、子どもの自殺は後を絶たないと思う。	安心して学校に通えるよう、親和的な学級づくりによりいじめ防止に取り組みます。またコミュニティスクールを設置する事で地域とともにある学校をめざしていきます。	無
16	79	①いじめ防止・対応	教育格差を無くすために経済的支援を（人権として） ・教育の無償化に取り組み、学校で使用する物は全て学校常備品とする。（算数セット、習字セット、裁縫セット、絵の具セット、辞典、ピアノカ、カスタネット、のり、はさみ、定規、鉛筆、消しゴム等他多数）SDGsにもつながる。 ・給食の無償化 ・給付型奨学金 町でできる事を早期実行されたい。	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	無
17	79	②不登校のこどもへの支援	I C Tは削除いただきたい。体験型遊びを挿入いただきたい。	児童生徒の不登校の状況は様々ですので、状況に応じてICTを活用し、健康観察や学びの保証をするため必要な手段のひとつとなっております。 体験型遊びについては、学校や関係者との議論が必要ですので、今回の計画は原案どおりとさせていただきます。	無
18	80	⑥産前・産後の相談体制の充実	アンケート相談役にトップが祖父母や親戚、続いて知人・友人、3番目に保育士となっている。多くの園で担任が持ち上がり、父母との関係性がよく、相談しやすい環境がある。又子どもと関わる施設は子どもの異変を察知しやすい場だ。子の異変は親の異変でもあり、保護者との関われる場でもある。コミュニケーションが取れる様なゆとりが欲しい。	「保育士の確保（P83）」、「保育士の働きやすさ向上（P83）」に記載のとおり、保育士の働きやすい環境の整備に取り組んでおります。 頂いたご意見も参考に、引き続き取組を進めて参ります。	無
19	81	④保育料の無償化	保育料の無償化すべての子（0～2歳）を持つ保護者対象に拡大することを目標にプランを作成して欲しい。減額を進めつつ〇年以内に実現を目指す。数字で示すこと。	保育料の無償化を0～2歳児すべてのこどもに拡大することは、本町の財政的な面から、実施は難しいと考えております。頂いたご意見につきましては、子育て世帯の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。	無
20	82	③各種相談の充実	<u>子どもオンブズマン・コミッショナーを配置</u> （子ども・親・教師の相談にいつでも対応できる様にする） 子どもが相談で2次被害に合うことや学校、教育委員会に忤度しない、子どもの最善の利益を守れる人が町には必要。いじめ対応の遅さは課題。下線が一番必要性があり、是非挿入して欲しい。	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	無

パブリックコメントの実施結果

資料①

No.	計画頁番号	該当箇所	ご意見の概要	町の考え方	修正の有無
21	83	②保育士の働きやすさ向上	保育士の働きやすさ向上の具体的な施策を入れる。 <u>保育士の配置基準の更なる見直し</u> 。下線を挿入して欲しい。 0歳児3人を1人では抱っこで逃げられない。せめて2人。生まれてからこの1年間は発達が大きく、とても大事な時だ。いざというときに4人とも助からず。 1歳児6人を1人ではヨチヨチハイハイの子を外で自由に遊ばせる事が出来ない。抱っこにすぐ応えてやれない。 2歳児6人を大人1人で、3歳児15人を1人で、「やりたい」「見て」にすぐに応えられない。散歩に一人で連れて行けない。 4歳児・5歳児25人对1人では、子ども一人一人の課題を指導し最大限力を伸ばして行けない、5歳児は就学前で大事な時期だ。散歩は複数で連れて行く様指示されているが、配置上はそうっていない。現場に適切な配置が無ければ命を守る事さえできない。質の向上以前の問題。	認可保育園の配置基準については、国や沖縄県が定めており、児童の安全確保のため、引き続き適切な配置保育士を図って参ります。	無
22	83	③教育・保育環境の充実	ハード面だけでなく、ソフト面も着目して欲しい。新しい事が次々と上から降りてくるが、人手が足りない。現場は四苦八苦している。ICT導入よりも人手が足りない現場の手当を。（精神疾患・退職者の増加は？はぜ？）	ICT導入により保育士の業務負担軽減を図ることで、保育士が本来の業務に注力できる体制を確保できると考えております。 また、「保育士の確保（P83）」、「保育士の働きやすさ向上（P83）」に記載のとおり、保育士の働きやすい環境の整備に取り組んでおります。 頂いたご意見も参考に、引き続き取組を進めて参ります。	無
23	85	①安全体制の推進	老人会、婦人会、地域住民、学校、保育園、その他子ども施設の連携を深める。地域であいさつできる町づくりを目指す。読み語り、平和語り、演劇、歌、ダンス。学校、保育園、PTA、地域で活動する団体など加われる様に企画する。 （横をつなげる事で危険を早期に察知、情報共有できる町づくりをしていく。※その時にフェイク情報のチェックも必要）	防犯、防災の観点から、平時の地域、ボランティア、各団体等との横の連携は非常に重要であり、頂いたご意見につきましては、犯罪、事故、災害等から子ども・若者を守る環境づくりを進める上で、今後の参考とさせていただきます。	無
24	85	③防災体制の強化	避難場所となっている所の周知。トイレや食糧確保、現体制や備蓄状況を定期的に知らせ、町も個人も防災に対して心構え、準備を持つ。	計画にも記載のとおり、防災体制の強化を進めてまいります。なお、ご指摘の件は防災意識の向上のためにも必要な視点となっておりますので、広報誌等で随時町民に対し啓発を行ってまいります。	無

パブリックコメントの実施結果

資料①

No.	計画頁番号	該当箇所	ご意見の概要	町の考え方	修正の有無
25	73・74	3. こどもの成長段階に応じた学び・保育の充実	保育・学校現場は疲弊している。どんな素晴らしい研修を受けても現場に入ればそれどころではなくなる。「子どもにもう一人の保育士を実行委員会」の言う保育士の配置基準0歳児1.5対1、1歳児3対1、2歳児4対1、3歳児10対1、4・5歳児15対1。国際基準に合わせて配置基準を変えることで保育から遠く（離職・退職・潜在保育士）保育士を現場に呼び戻すカギだ。重責、過労を取り除き、子ども達一人一人と向き合う本来のやりがいのある仕事となる。	頂いたご意見につきましては、「保育士の確保（P83）」、「保育士の働きやすさ向上（P83）」に記載のとおり、保育士の働きやすい環境の整備に取り組んでおります。 なお、認可保育園の配置基準については、国や沖縄県が定めており、児童の安全確保のため、引き続き適切な配置保育士を図ってまいります。	無
26	－		「経済的負担が大きい53.3%」P58 子育てに関して思っている事の回答 「経済的負担が大きい60.6%」、若い多くの人が子育てには経済的負担があり、不安や自身が持てない1つにもなっている。 「安心して子育てできる町」子育ての環境作りが進んでいる事を数字で示す事で展望が持てる。下記3つを提案する。 ・学校給食の無償化 ・学校使用常備品化 ・給付型奨学金	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	無
27	－		子ども・若者アンケートが活かされる様願う。子ども・若者意見を言っても何も変わらなければ意味がないと、子ども・若者は権利行使の主体者として諦めてしまう。子ども・若者の意見がどう活かされるのかが重要かと思う。意見が取り入れなかったとしたら、説明をしてもらおう事で、次につながる。子ども・若者の意見を取り入れることで町は自分達が創っていくものだと思い手に育っていくのだと思う。今回のアンケートを活かされたい。	計画第7章「計画の推進について」などにも記載のとおり、着実に計画を進めてまいります。	無
28	－		次回見直しの際には、子どもに関わる団体、職場（学校、保育園等）で働いている方にもアンケートを取って、何をどのようにすれば子どもに最善かを考慮する材料に加え、よりリアルを計画に取り入れて欲しい。又、回収方法はプライバシーを尊重しオンブズマンやコミッショナーに依頼する。学校回収・職場回収だと本音が出せない。回収や配布方法も検討されたい。	頂いたご意見につきましては、次回アンケート実施時の、対象者選定や配布・回収方法の参考とさせていただきます。	無
29	－		委員からの意見もどう活かされたのか報告会などで知りたい。	会議における各委員からの意見については、町ホームページに議事概要として公表いたします。	無